

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	高鍋町事務事業評価事業				開始年度	平成18年度	
基本目標	健全な財政運営				終了年度		
担当課(局)	政策推進課	担当係	財政経営係	記入者	内田 美香	評価者	森 弘道
20年度決算	2	千円	21年度予算	172	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	3,737 千円		21年度人件費	3,423 千円		事業従事者数	0.52 人 0.47 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	業務の検証をすることで、その改善を自ら考え、より効率的・効果的な事務を執行し、住民への説明責任も果たせるようになる。また費用対効果の意識と、政策形成能力の向上を図る。
事業の内容	担当課で作成した評価表をもとに、委員会において担当者・評価者へのヒアリングを行い、当該事務事業の必要性等を精査する。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 廃止事業数	現在の施策等にそぐわないと思われる事業を廃止し、効率的な行政運営を行う
	2 予算削減額(対前年)	有効性等の伴わない事業を廃止することで、財政の健全化につなげる
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 評価事業数	各課提出の事業について、ヒアリングと評価を行う
	2 事業廃止提言数	事業の有効性等を精査し、事業の継続に疑義があるものについて廃止の提言を行う
	3	

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度	
成果指標	廃止事業数	目標値	7	2	10	
		実績値	3	1		
		達成率	42.9%	50.0%		
	予算削減額(対前年)	目標値	円	32,284,000	5,462,000	
		実績値		32,273,000	2,000,000	
		達成率	%	100.0%	36.6%	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	評価事業数	目標値	320	140	150	
		実績値	138	142		
		達成率	43.1%	101.4%		
	事業廃止提言数	目標値	件	10	10	10
		実績値		8	8	
		達成率	%	80.0%	80.0%	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性(必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	行政事務の評価であり、事務の自己点検の意も込めているので、町で行うべき事業である。 廃止することで、PDCAサイクルの構築が達成できない。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	評価・検証を行うことで何らかの問題点を見出すきっかけとなり、効果が薄い、町で実施すべきものではない、といった事業の廃止・縮小を提言することができた。 職員が事業評価への認識を高めることで、一層の成果向上が図れると考える。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	評価表作成には事務量や時間の負担が伴う。しかし、継続的に実施することで評価に慣れることとなり、結果的に効果が上がるものとする。
協働性	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	外部評価を導入することにより、町民の意見を反映し、行政事務の一層の見直しができる。

事務事業名	高鍋町事務事業評価事業	担当課(局)	政策推進課
-------	-------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	<p>◎担当の方針に対する評価者としての所見</p> <p>◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等</p>	<p>事務事業評価も4年目を迎え、本年度から一部事業について外部評価を導入し、委員会に諮る準備を進めている。評価委員からは、今まで以上に的確で客観的な評価をしていただけたものとする。職員が事務事業評価を行うことは効率的・効果的な事務の執行をしていく上で有効な手段であるので、今後は事務事業評価が町の総合計画とリンクし、予算要求・査定に直接的に反映できる方向を考えてもらいたい。</p>	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充			○	
				現状維持				
				縮小				
				廃止				
		廃止	縮小	現状維持	拡充			
コスト								

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎今後、ヒアリングについては、新規事業や検討事項のあった事業のみを行っていく。
	コスト	現状維持	

19廃止目標	実績	予算額	削減額
透析患者交通費助成	×	2,160	1,160
多目的用水管理	×	0	0
畑田処分住所証明	×	0	0
高鍋港整備	×	11	0
新田原道路改修	○	28,523	28,523
花いっぱい運動	○	102	102
登記嘱託業務	○	1,488	1,488
		32,284	31,273

20廃止目標	実績	予算額	削減額
郷土の名木	×	743	0
温泉券交付	○	4,719	2,000
		5,462	2,000

19提言実績	
温泉券交付	←削減1,000千円あり
透析患者交通費助成	※温泉については
多目的用水管理	21年度からの廃止を
畑田処分住所証明	提言
高鍋港整備	
新田原道路改修	
花いっぱい運動	
登記嘱託業務	

20提言実績	
郷土の名木	
温泉券交付	
住宅改造成	※上記以外6事業は
透析患者交通費助成	「将来的に廃止」を
多目的用水管理	提言
畑田処分住所証明	
学校施設耐震調査	
放課後チューター	